

特集 これからの地域看護のかたち—施設篇

施設における看護の役割と展望	沼田美幸
看護小規模多機能型居宅介護の現状と課題	和田洋子
特別養護老人ホームでの看護師の役割	大久保実
介護老人保健施設での看護師の役割	鈴木恵美子
住宅型有料老人ホームでの看護師の役割	吉松泰子
在宅ホスピスでの看護師の役割	津久井利恵

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上菌紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	金子 寿
川越雅弘	木下康仁
桑山浩明	小林直樹
齋藤正洋	榎原次郎
座小田孝安	佐藤久夫
鈴木孝治	武原光志
玉垣 努	角町正勝
土井勝幸	野尻晋一
橋本美芽	長谷川幹
畑野栄治	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
山口晴保	若林秀隆

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
金城利雄	阪井康友
澤 俊二	野崎園子
備酒伸彦	松坂誠應
水間正澄	

●編集後記

超 高齢社会において、多職種チーム医療の展開が前提となった機能分化・連携に基づく地域完結型医療提供体制の構築が大きな課題とされている。そして地域医療が地域包括ケアシステムを支えるためには、医療・介護の連携による在宅医療の充実が求められる。つまり、“高度に進歩した急性期の臓器別専門治療を着実に地域生活につないでいく(医療が地域生活を支える)”ことが重要となる。具体的課題は“生活を如何に医療の中に組み込んでいくか”である。

本来、急性期医療は「救命・救急や臓器別専門治療によって急性疾患を治療し、全身状態の安定化を図る」ことが任務であり、疾病の専門的治療が不要になれば役割は終わる。ここで重要なことは急性期治療に並行して早期からリハや栄養管理・口腔ケアが実施され、「生活の準備」が図られるという視点である。そして、回復期は全身状態が安定するまでの治療の継続(慢性疾患の治療も含む)と地域生活に戻るための「生活の再建」が中心的役割となる。そのため、残存する障害に対しては集中的な回復期リハが提供される。そして慢性期医療においては急性期や回復期において獲得された「生活能力の維持・向上、そして活動・参加」につながるような生活期リハが大切となる。

このように地域医療と生活を考察した時、それぞれの病期に従事する看護師の役割は非常に重要となる。本来、看護師の任務には「診療補助」と「療養上の世話」が掲げられている。言い換えれば診療補助はリスク管理と共に臓器別専門治療への参画であり、療養上の世話(ケア)は「生活の自立支援」につながるものである。昨今、急性期医療では在院日数の短縮化が求められ、看護師は診療補助に重点をおかざるを得ない実情が存在する。このため、他専門職(リハ専門職、社会福祉士、歯科衛生士、管理栄養士、介護福祉士など)が参画することで、より専門的に補完・充実を図り、効率的に質の向上を目指すことが肝要となる。そのような状況下では、急性期の看護師にはケアの視点で他専門職をコーディネートすることが求められるであろう。一方、回復期の看護ではリスク管理という診療補助にかかわるにしても、その役割は急性期とは逆で、自立支援を目的としたケアが中心となり、任務の大半を占めることになるようである。故に他専門職などが“障害の改善”を目的として専門的にかかわる一方で、看護師は日々変化する患者の能力に応じた入院生活での自立・向上を図っていくという重要な役割を担うことになる。急性期における役割以上に看護師のマネジメント能力が求められる。

一方、このような視点で在宅医療を支える訪問看護師の役割を考えると、非常に多岐にわたる。患者・対象者の病態などに応じて、リスク管理(診療補助)に重点をおきながらも、毎日の生活を支えていくという視点も求められるであろうし、また在宅生活においては常に患者・対象者および家族をあくまでも地域の生活者としてとらえ、他職種と協働しながら、臨機応変・柔軟そして懐深い対応が求められていくことであろう。

編集委員 栗原正紀

第11巻第11号[通巻128号] 2016年11月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 11月号

1部定価(本体1,800円+税)
2016年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2016, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複製・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。